

**製品名: p53 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87631**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:44 kDa; Observed MW:53 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	p53
別名	P53; BCC7; LFS1; TRP53
遺伝子 ID	7157
SwissProt ID	P04637
免疫原	ヒト p53 の合成ペプチド

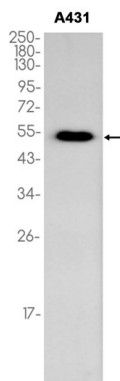
**背景**

この遺伝子は腫瘍タンパク質 p53 をコードしており、p53 は様々な細胞ストレスに反応して、細胞周期停止、アポトーシス、老

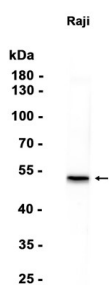
化、DNA 修復、あるいは代謝変化を誘導する標的遺伝子を制御します。p53 タンパク質は正常細胞では低レベルで発現していますが、様々な形質転換細胞株では高レベルで発現しており、形質転換や悪性化に寄与と考えられています。p53 は、転写活性化ドメイン、DNA 結合ドメイン、およびオリゴマー形成ドメインを含む DNA 結合タンパク質です。p53 結合部位に結合し、増殖や浸潤を阻害する下流遺伝子の発現を活性化することで、腫瘍抑制因子として機能と考えられています。この遺伝子を欠損したマウスは、発達的には正常ですが、自然発生的な腫瘍を発症しやすくなります。これまでの証拠によると、この遺伝子はヒト遺伝子の代替プロモーターとは対照的に 1つのプロモーターを含み、異なるアイソフォームをコードするいくつかのスプライスバリエーションを転写するが、一部のバリエーションの生物学的妥当性や全長の性質は未だ解明されていない。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

## 画像データ



p53 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して A431 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe87631 を 1:1000 で使用して Raji 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。